

D3センター教授会 議事要録

日 時： 令和7年9月25日（木）15：50～17：18

場 所： オンライン開催（Teams）

出席者： 降旗センター長、猪俣教授、岩居教授、浦西教授、下西教授、伊達教授、長原教授、春本教授、村田教授、八木特任教授（常勤）、鎗水教授、吉野教授

欠席者： 岸本教授、櫻井教授

議事に先立ち、前回の教授会議事要録（案）の確認があり、これを承認した。

議 題

（審議事項）

1. 「サイバーコミュニティ研究部門」教授の選考について
標記のことについて、資料1-1～1-3に基づき、選考経過、履歴、業績等の説明があり、投票の結果、令和7年10月16日付で候補者を採用することを承認した。
2. 招へい教員等の受入れについて
標記のことについて、資料2に基づき説明があり、審議の結果、新規受入れ2件を承認した。
3. 兼任教員について
標記のことについて、資料3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。
4. 共同研究の受入れについて
標記のことについて、資料4に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。
5. D3センター教員業績評価基準及び自己申告書の改正について
標記のことについて、資料5に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

（報告事項）

1. 各種委員会報告について

（1）学内委員会

- ① 吹田地区事業場安全衛生委員会（8月1日、9月5日）
- ② 豊中地区事業場安全衛生委員会（8月8日、9月12日）
- ③ ダイバーシティ&インクルージョンセンター会議（9月3日）
- ④ 理工情報系オナー大学院プログラム教務委員会（9月8日）
- ⑤ 教育課程委員会（9月12日）
- ⑥ 豊中地区部局長会議（9月16日）
 - ・豊中地区における今後の井水の在り方について、現状は市水と井水双方を利用しているが、井水を汲み上げるポンプの老朽化に伴い、今後は全て市水に切り替える方針について報告があり、意見があればTeams等で連絡するよう依頼があった。
- ⑦ 学術研究機構会議（9月17日）
- ⑧ 理工情報系戦略会議（9月17日）
 - ・将来構想の実装化に関する検討について、以下の通り報告があった。
組織体制については、従来の部局・研究科を中心とした体制から、戦略会議と同じ

3つの領域（人文社会科学系、理工情報系、医歯薬生命系）を設定し、それぞれ領域長を設け、部局横断的な組織体制に移行する案が示された。

また、教員人事については、2026年4月以降の公募から、採用計画や選考に関してプロボスト・機構長の承認が必要となる、新たな部局横断型の教員人事プロセスが導入される案が示された。

⑨ 理工情報系オーナー大学院プログラム運営委員会（9月17日）

⑩ 教育研究評議会（9月17日）

- ・国際卓越研究大学の認定等に関する審査状況について、10月14日にサイトビジットが行われる旨報告があった。

- ・教員の業績の登録について、特に査読有無の入力を徹底するよう依頼があった。

- ・公的研究費の不正使用防止に関する意識調査の実施について、報告があった。

⑪ 吹田地区箕面地区合同部局長会議（9月17日）

⑫ 情報推進本部協議会（9月24日）

⑬ 情報セキュリティ本部協議会（9月24日）

（2）センター内委員会

① 研究倫理審査委員会（7月16日、8月25日）

2. 兼業について

標記のことについて、資料20に基づき、報告があった。

3. 第4期中期目標期間における4年目終了時評価に係る「学部・研究科及び研究組織等の現況分析」に係る資料の作成について

標記のことについて、資料21に基づき、報告があった。

4. 令和6年度部局アクションプラン『全学的に重視する指標』の数値目標に対する評価について

標記のことについて、資料22に基づき、報告があった。

5. 令和8年度事項指定経費について

標記のことについて、資料23に基づき、報告があった。

6. 令和8年度概算要求（基盤的設備等整備分）について

標記のことについて、資料24に基づき、報告があった。

7. スーパーコンピューティングコンテストの結果について

標記のことについて、資料25に基づき、報告があった。

8. 「玄界GPUミニキャンプ2025」の共催について

標記のことについて、資料26に基づき、報告があった。

9. 「WINK2025コンテスト」の協賛について

標記のことについて、資料27に基づき、報告があった。また、同コンテストについては、学生も応募可能であるため、興味のある学生への周知について、協力依頼があった。

10. 知の拠点「すぐわかアカデミア。」動画作成について

標記のことについて、資料28に基づき、動画作成担当教員が決定した旨の報告があった。

11. その他

(1) 令和8年度における年休奨励日の設定について

標記のことについて、資料29に基づき報告とともに、研究室においては引き続き年休の計画的な取得に配慮いただきたい旨依頼があった。

(2) 広報誌「STOP! 研究費不正」(第50号)について

標記のことについて、資料30に基づき、「公的研究費の使用に関する行動規範」と、公的研究費における旅費関連の不正について説明があり、「カラ給与による研究費の不正」の事例についても注意喚起があった。

(3) e-learning研修等実施月間(9月)について

標記のことについて、資料31に基づき、受講依頼があった。

(4) D3センターの業務報告について

標記のことについて、各部門から、報告があった。

- ・セキュアプラットフォーム・アーキテクチャ研究部門から、交野市教育委員会との共同企画「大阪大学体験学習ツアー」終了の報告と、関係教員への謝辞があった。関連して、交野市内の廃校となった学校建造物について、実験利用が可能である旨報告があり、利用希望者は同部門へ連絡するよう案内があった。
- ・サイバーメディア教育研究部門から、高校生を対象とした「情報科学の達人プログラム」による当センター訪問の報告と、関係教員への謝辞があった。

◎次回開催予定日 令和7年10月23日(木)